

# 未来を拓く子



**【教育目標】 未来を拓く子**  
 ～やさしく かしこく たくましく～  
**【令和4年度重点教育目標】**  
**自動前心**  
**令和4年8月26日(金) 第5号**

今月のキーワード「教えない指導」AI×人間

## 心の引き出しを開ける問いかけ

東川町立東川第一小学校長 荒谷 卓朗

**【準備体操】**「引き出し」と聞いて何を想像しますか？私の頭には「タンズ」が思い浮かびました。ではタンズといえど？「タンズにゴン！」（消臭剤のCM）を思い出しました。（かなり古いですが…）

**【助走】**さて、「教えない指導」を掲げる個別指導型のある学習塾では、タブレットを使った独自の学習プログラムで自分のペースで学べるようになっており、特別な研修を受けた大人がコーチングで学びをサポートするようです。「個別最適な学び」という点で、理想的な学びの教育サービスが提供されています。公教育においてもAIドリルはタブレットで活用できるようになっています。そこに大きな差違はありません。

**【本題】**では学校の役割とは何でしょうか？私は人の営みが創り出す「授業」を体験できることだと考えます。

9/21本校を会場に公開研究会が行われます。国語の授業の進め方について担任を中心に試案しているところです。複式学級での授業づくりは高度な技能が求められます。たとえ話ですがイメージしてみてください。「走っている車が2台あって、1台を運転しながら軌道にのったら自動運転に切り替えて、その隣の走っている車へ跳び移ってハンドルを操作し、方向付けをして自動運転に切り替えて、また、もとの車に戻って…」

複式学級の担任は、毎日、これ（授業）をやっているわけで、かなりの過重労働です。かつて、複式学校では、「～さんの意見に賛成です。その理由は～です。他に意見はありませんか？」のような話し合いの定型を定めて、教師が関わらない合間に、自学ができる手立て（そろえる指導）をとってきました。しかし、今は「渡りに船」で、タブレットを活用すると子どもは自分で学びを進め、教師は進捗を画面で一覧できる環境が整いました。しかも、デジタル教科書が入り先生が黒板に書いてノートに写すという「教える指導」に頼る必要はなくなりました。

**【問いの力とは？】**「教えない指導」が主流とはいえ、人が営む「授業」はAIには勝てない部分があると考えます。なぜなら、AIのプログラムはアイデアだからです。今、「アジャイル」というプログラム開発方法が生まれ、バグが出たとき従来の方法より素早く修正できる優れたものだそうです。これを創り出したのは人の脳、すなわち思考力です。心理学の観点でいうと、ミスがあるとき、「どうしてできないの？」ではなく、「どうしたらできるかな？」と考えると解決への道が開けます。これがプログラミング的な思考です。

何か課題に向き合うとき、「どうなったらいいかな？そのために何ができる？」と問いかけると、子どもたちは動き出します。相手の状態（思考・感情・体調）を見極めて、「心の引き出しを開ける問いかけ」を出すタイミングが大切になります。それは毎日の授業で子ども（人）と向き合う人だからこそ、できる技です。

**【楽しく学ぶ問いとは？】**4年生の国語に「ごんぎつね」という教材があります。主人公の兵十の家に栗をかためて置いていく、きつねの「ごん」。その行動の意図を読み取る様々な問いが開発されました。クライマックスの場面で、どんな問いを出しますか。“兵十はびっくりして、ごんに目を落としました。「ごん、おまえだったのか。いつも、くりをくれたのは。」”（問）兵十は、家に入って、はじめに何をみましたか。また、意味不明の記述もあります。“兵十はかけよってきました。”（問）見たのはだれですか？

こうした問いを出すと、様々な意見が出て交流が生まれます。「哲学対話」にもつながりますが、正解がすぐに出ない問いから考える活動は楽しいものです。最後に、題名が指し示す意図は何か考えてみてください。「ごん+きつね」、題名が「きつね」ではないところに作者が意図したテーマがかかれています。探究的な学びとは、こうした小さな問いから始まると思うのです。あなたはどのように考えますか？

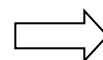
\*「心の引き出しをあける問いかけプログラム」（引き出し…タンズ…ごん）＜開発：荒谷＞

成功へのキーワード **What can you do?** (あなたは何かできる?)



【お知らせ】～【CS（学校運営協議会）便りも更新中】

第一小学校ホームページ <https://higashikawa-dai1-syo.edumap.jp/>





## 9月行事予定

日	曜	学校行事等
1	木	避難訓練
2	金	職員会議9
5	月	一っ子集会任命式 パワフルウィーク 学期末評価(5時間)
6	火	学期末評価(5時間)
7	水	学期末評価(5時間)
8	木	中学年稲刈り
9	金	クラブ⑤
12	月	パワフルウィーク
13	火	持久走記録会
14	水	読み聞かせ
15	木	児童総会
16	金	クラブ⑥ 持久走予備日
19	月	敬老の日
20	火	前日準備5時間
21	水	上川中部地区へき地複式研究 大会
22	木	P交通安全指導 (~28日まで)
23	金	秋分の日
28	水	諸費納入日 児童会②
29	木	研修日⑧
30	金	前期終業式

## 一っ子集会(8月17日) 後期の学校生活が始まりました

夏休みが終わり、8/17(水)から学校が始まりました。集会では、1年生、3年生、6年生の代表が夏休みの思い出や後期の学校生活でがんばりたいことなどを話しました。キャンプ、お祭りなどの思い出や、取り組んだ学習や自由研究の話等の話を聞くことができました。



今年の夏休みは、宿題のない夏休みでした。発表の内容から、子供たちは自分で計画を立てて、決めた学習や活動に取り組み、充実した休みを過ごしたことがわかりました。

(発表の内容)

「キャンプはいいなと思いました。」

「お祭りで楽しむことができてうれしかったです。」

「やると決めた自由研究がやってみると難しく大変だったけれど、やり終えて充実感がありました。」

「学会会に向けて頑張りたい」

夏休み明けの子供たちの成長が楽しみです。



児童会からは今月の生活目標の発表がありました。「すすんであいさつをしよう」です。

一階廊下に「あいさつ通り」ができました。ここは、友達とあいさつを交わす場所。「こんにちは」の声が響き渡っています。

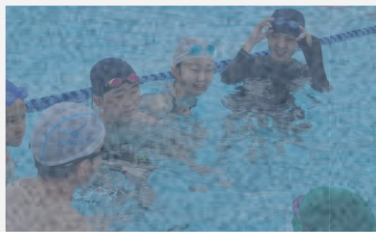
教室でも元気なあいさつが響き渡り、活気ある夏休み明けになりました。地域の皆さんにあいさつできたときには、ぜひ、あいさつを返してください。よろしくお願いいたします。



## 水泳学習~8/18



少し肌寒い日でしたが、水泳学習を楽しみました。上達に向けて、グループごとにいろいろな練習に取り組みました。



## どんとこい祭り~7/30



地域サポーターの皆様、練習の応援や太鼓の運搬手伝い等、ありがとうございました。